

死によつて受け継がれる、
いのち“がある。



「死」を意識することで初めて「生きることの素晴らしさ」を感じることが出来るのではないかでしょうか?
大切な人の「死」を意識することで初めて、
大切な人の「いのちのタスキ」を繋ぐことの重要性に気付くのではないかでしょうか?



この映画はホスピスケアの原点を見事に描いている。
ホスピスケアは寄り添うことが原点であると改めて教えてくれる。

柏木 哲夫氏 金城学院 学院長 淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長、
公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長

この映画は我々の思いを遙かに超えた形で「いのち」を表現している。
今は天国に住まう患者さんの祈りを添えて、世に送り出そう。

細井 順氏 ヴォーリズ記念病院 ホスピス長

いのちがいちばん輝く日

— あるホスピス病棟の40日 —

<http://www.inochi-hospice.com>

助成: 文化芸術振興費補助金 製作: 有限会社オフィスアクシス/アールズスタッフ 2012年 HD カラー 95分
製作協力: 公益財団法人近江兄弟社/ヴォーリズ記念病院/株式会社シムス
後援: 公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団